

動け! 所沢 紡ごう! 絆 笑顔あふれるマチへ

—未来を見つめ、今を動く!—



新年の「ごあいさつ」

所沢市長 藤本 正人



あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことお慶び申し上げます。また、日頃より市政に対し、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

「動け! 所沢 紡ごう! 絆」 「未来を見つめ、今を動く!」を合言葉に市政運営に取り組み、4年目を迎えました。市民の皆様との約束(公約)は、おかげさまで、やっと土の中から芽が出て咲き始めたように感じています。

さて種をまき、芽を出し、花を咲かせるためには、土壌が柔らかくなくてはなりません。組織の枠にとらわれず柔軟に対応すべく(株)西武鉄道と若手市職員による意見交換会や、東京五輪・パラリンピック推進に向けた戸内プロジェクトチームの立ち上げなども行ってきました。

〔仮称〕所沢市総合福祉センター(所沢市こどもと福祉の未来館)の建設を開始

本施設は、地域福祉センター、こども支援センター、社会福祉協議会などの機能を併せ持ち、誰もが地域で自立した生活が送れる社会を目指す地域福祉(※)の中心的な役割を担う拠点として、現在建設を進めています。

「地域福祉センター」では、子どもから高齢者、障害者などを問わず、さまざまな課題を抱える世帯の相談に応じる福祉の総合相談窓口を設置し、必要な福祉サービスの利用につなげ、自立に向けた支援を行います。



▲所沢市こどもと福祉の未来館のイメージ

マチごとエコタウン所沢構想の推進

この構想は、エネルギー・資源に過度に依存してきたライフスタイルを見直し(1)エネルギーの自立を目指した自然エネルギーの普及や省エネの促進、(2)みどりの保全と創出(3)「もったいないの心」を大切に、ごみを削減する取り組み、の3つの柱からなります。

◆エネルギー 構想の先駆けとして、北野に設置した1メガワットのメガソーラー(ことごソーラー北野)は、平成26年3月から発電を開始し、現在、予想を超える発電量となっています。

浄化センター跡地に(株)KADOKAWAが進出

平成24年に廃止した所沢浄化センター跡地(東所沢和田3丁目31番地3及び11)を企業誘致として(株)KADOKAWAに約33億円で売却しました。土地を取得した同社は、29年の夏に、印刷・製本から出荷までの機能を統合した一大拠点となる事業所を操業する予定です。

「所沢発 みどりと笑顔にあふれる自立都市」に向けて後期基本計画(平成27年度～30年度)を推進

平成23年度からの8年間を計画期間とする第5次所沢市総合計画では、基本構想に将来都市像「所沢発 みどりと笑顔にあふれる自立都市」を掲げ、計画的なまちづくりを進めています。

平成27年4月から、市立幼稚園小・中学校は「新たな三学期制」に一斉に移行します。この新たな三学期制とは、ゆとりある授業時間数の中で、より創意工夫を生かした教育活動や、体験的活動の充実を目指した「二学期制のよさ」と、長期休業日ごとに学期が区分され、学校生活リズムがつけやすい三学期制のよさを生かした学期制です。

「わけてこ」で検索し、ごみの分別徹底を促しています

27年もエネルギーの有効利用を進める施策や食品ロスを減らす施策、みどりを保全・創出する施策などをさらに進めていきます。



▲柳瀬中学校屋上太陽光発電設備



▲(株)KADOKAWAの工場イメージ

自治会・町内会を応援します

「地域のごとは、地域で決めてつくっていく、汗をかいていく」という基本に立ち返る「所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例」を平成26年6月に制定しました。

「所沢駅東口にギヤラー施設」と町内会集会所施設が建設 老朽化により取り壊す第2市民ギヤラー跡地を医療法人社団和風会(所沢中央病院)に、病院用地として売却しました。



▲所沢中央病院のイメージ